

第100回記念二科熊本巡回展

会期:2016年4月5日(火)～4月14日(木)9日間(4月11日(月)休館日)

会場:熊本県立美術館分館



▲熊本県立美術館分館

展示数:311点

(絵画89点・彫刻11点・デザイン50点・写真161点)

入場者数:5,400人

※4月15日(金)～17日(日)は地震の為中止



▲前夜祭

今回も前回同様、くまもと県民テレビとの共催で行った。開催前日は二科会の吉井英二常務理事をお迎えして、展示終了後、満開の桜の花に囲まれた熊本城が目前にある会場で、支部主催による前夜祭を行った。120名の出席を賜り盛会裏に終了することが出来た。



▲オープニングセレモニー

オープニングセレモニーでは、熊本県教育長様よりお祝いの言葉を頂き、初日から多くの観客が詰めかけ、好調な滑り出しで、四部門はそれぞれ、土曜日・日曜日の二日間ギャラリートークを行ったが、どの部門でも多くの参加者があり、好評を博し盛会であった。



▲第1展示室(絵画)



▲第2展示室(写真)



▲1階ギャラリー展示室(デザイン)



▲4階の展示会場

4月16日未明

震度7の大地震で甚大な被害を受けたが、前日に全展示作品を撤収していたので、作品への被害はなかった。

ところが、4月14日夜9時26分に震度7の大地震に見舞われた。夜明けと同時に会場に出向くと、地元の作品が数点落下していた。強い余震がつづく為、中止を決定した。かけつけて来た皆と作品を一旦下ろし、安全な収蔵庫に固定した。これが結果的に良かった。

その日の夜、16日の午前1時25分に再び強烈な本震が長くつづき、不気味であった。地球はこれで終わりかと思う程の強い揺れを感じた。

その時、殆どの被害が発生したと考えられる。支部同人の6名の家が全・半壊となってしまった。家屋の亀裂等の被災は多数である。

2日前までは素晴らしい会場であった4階の展示室は、天井が全部落下し鉄骨まで落下していた。そして剥き出しになった鉄骨の間からは空が見えていたのである。暗い館内の床いっぱい瓦礫で現実とは思えない程であった。

涙…

強烈な二つの地震が夜間であったため、少なくとも会場での人的被害がなかったことは、不幸中の幸いであった。

この度の開催で特に得たものは、

- 一、二科に関する県民の関心が高まった事
- 二、出品者の意識高揚
- 三、4部門の結束

などがあり開催して良かった。

(熊本支部支部長 木戸征郎)